

## 巻頭のことば

平成19年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

我が国の経済は、戦後最長の景気回復基調にあると言われてましたが、企業間、地域間で格差があり、地方自治体では、国の歳出削減等により非常に厳しい財政状況となりました。

本市におきましても、社会保障関係扶助費や公債費などの義務的経費が増加の一途をたどり、非常に苦しい財政運営となりましたが、そのような中で、ごみの有料化、使用料・手数料の見直し、技能労務職員の職種転換など、行財政構造の改革のため、避けては通れない課題の解決に全力で取り組んでまいりました。

また、「和牛博覧会inとっとり」の開催、小学校給食調理場施設整備のための「よなご市民債」の発行を行いました。いずれも市民の皆様のご協力により無事終了することができました。

極めて厳しい財政状況ではありますが、市議会議員各位のご指導をはじめ、市民の皆様の深いご理解とご協力をいただきながら「生活充実都市・米子」を目指し、引き続き市政運営にまい進する所存です。

どうか、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年8月

米子市長 野坂康夫

# 重要記録

## 1 米子消防署新庁舎完成

旧米子消防署庁舎は老朽化が進み、耐震性能上も危険な状態となっていたため、敷地を拡幅したうえで改築工事を実施していたが、平成19年4月2日に米子消防署新庁舎開署式を挙行し、新庁舎における業務を開始した。

## 2 淀江地区CATV放送開始

新市の一体化を推進する事業として、ケーブルテレビの光ファイバー網が未整備であった淀江地区の拡張整備工事を前年度に終了し、4月からケーブルテレビの配信、インターネットやIP電話などの放送通信サービスがスタートし、行政サービスなどの情報の共有化が可能になった。

## 3 ごみ有料化スタート

平成19年4月から、「ごみ減量化の一層の推進」「ごみ排出量に応じた費用負担の公平性・平等性の確保」「ごみ処理経費に係る財源確保」を目的に、「可燃ごみ」と「不燃ごみ（不燃性粗大ごみ含む）」の有料化を実施した。市民の皆様のご協力によって、平成19年度のごみ全体の排出量は平成18年度と比較して約20%減少し、ごみの量を大きく削減することができた。

## 4 米子市みんなできれいな住みよいまちづくり条例

米子市では、市民や事業者の皆さんと行政が協働して、環境の美化を図り、きれいな住みよいまちづくりを推進するため、米子市全域の道路、公園などの公共の場所でのごみのポイ捨てやペット等のふんの放置を禁止した「米子市みんなできれいな住みよいまちづくり条例」を、平成19年7月1日から施行した。

## 5 中海市長会の発足

米子市、境港市、松江市、安来市の四市で組織していた「中海圏域4市連絡協議会」を組織改編し、中海圏域の総合的・一体的な発展の推進を図ることを目的として、発展方策の検討及び連絡調整や、共同事業などに取り組むほか、官民の連携も視野にいれ、平成19年7月に「中海市長会」を発足させた。

## 6 和牛博覧会in鳥取「第9回全国和牛能力共進会」開催

崎津住宅団地をメイン会場に、10月11日～14日に開催された和牛博覧会in鳥取「第9回全国和牛能力共進会」を盛り上げるため、市民啓発・歓迎用看板設置（5箇所）、ステッカー作成（1,000枚）とともに、大会期間中メイン会場に「米子館」を出展（延べ7,260名の入場）し、米子市の観光等の情報発信をするとともに、おもてなしに努めた。

## 7 よなご市民債を発行

市立学校給食センターの施設整備にあたり、市民が資金の提供者となる住民参加型市場公募地方債「よなご市民債」を11月に発行した。発行総額は2億円で、発売前には市長も街頭でPRを行った。好評につき発売開始から2日間で完売した。

## 8 新学校給食センター完成

オール電化の学校給食調理場では、全国最大級の規模となる米子市立学校給食センターが完成した。安全、安心な給食を提供するため、徹底した食中毒防止対策を講じた施設、設備に整備されており、夜間電力を利用した給湯システムなど環境にもやさしい施設となっている。